

学校コード F117110105393

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前相談

注2

金沢大学大学院 新学術創成研究科 ナノ生命科学専攻 (博士後期課程)

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人金沢大学
令和4年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	企画評価室
職名・氏名	専門職員 <small>コジマ</small> 小島 <small>ナオト</small> 直人
電話番号	076-264-5020
(夜間)	076-264-5020
e-mail	g1kikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

新学術創成研究科

＜ナノ生命科学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人金沢大学

(2) 大学名

金沢大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1192
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ヤマザキ コウエツ) 山崎 光悦 (平成26年4月)	(ワダ タカシ) 和田 隆志 (令和4年4月)	令和4年3月31日付けで山崎光悦学長が任期満了で退任し、和田隆志学長が就任(4)
研究科長	(イイヤマ コウイチ) 飯山 宏一 (平成30年4月)	(サカモト ジロウ) 坂本 二郎 (令和4年4月)	令和4年3月31日付けで飯山宏一研究科長が任期満了で退任し、坂本二郎研究科長が就任(4)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
大学院新学術創成研究科 ナノ生命科学専攻 博士(ナノ科学)	理学関係 工学関係	3 年	6 人	年次 人	18 人	新規入学者を募集	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	6 (-) [-]	3 (-) [-]	6 (-) [-]	2 (-) [-]	6 (-) [-]	8 (-) [-]	1.44倍	倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	7 (-) [5]	3 (-) [3]	9 (-) [4]	2 (-) [2]	8 (-) [5]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	7 (-) [5]	3 (-) [3]	9 (-) [4]	2 (-) [2]	8 (-) [5]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	7 (-) [5]	3 (-) [3]	9 (-) [4]	2 (-) [2]	8 (-) [5]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	7 (-) [5]	3 (-) [3]	7 (-) [3]	2 (-) [2]	7 (-) [4]	() []			
入学定員超過率 B/A					1.66		1.50		1.16				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	7 [5] (-)	3 [3] (-)	7 [3] (-)	- [-] (-)	7 [3] -	- [-] -			
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[3] (-)	[3] (-)	6 [2] (-)	2 [2] (-)			
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	5 [3] (-)	3 [2] (-)	
4年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	- (-)	- (-)	
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	10 [8] (-)	15 [9] (-)	15 [9] (-)	15 [9] (-)	23 [12] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	10人	2人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2人	2人	・入学金未納除籍(1人) ・経済的理由の退学(1人)
令和3年度	15人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	1人	1人	・経済的理由の退学(1人)
令和4年度	23人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		2人		3人	3人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{10} = \boxed{20} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<新学術創成研究科 ナノ生命科学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手			
基幹展開科目	研究者として自立するために	1①	1									1
	学際ナノ生命科学概論	1①		1		1						
	ナノ生命科学特論	1③~④	2		5							10
ナノ生命科学革新科目	ナノ計測工学特論	1・2・3①	2		1							
	ナノバイオロジー	1・2・3②	2		1							
	生体分子構造動態論	1・2・3③	2		1							
	電気化学計測特論	1・2・3④	2		1							
	生体エネルギー論	1・2・3⑤	2		1							
	超分子											
	超分子機能化学探求	1・2・3①	2		1							
	高分子精密合成論	1・2・3②	2		1							
	生命科学											
	分子細胞生物学	1・2・3①	2		1							
腫瘍生物学特論	1・2・3④	2		1								
算数												
数理												
学計												
SPMシミュレーション特論	1・2・3③	2									1	
生命ナノマシン理論	1・2・3④	2									1	
目												
博士実践スキル養成	1~2⑤	1		6	7							
高度プロジェクト科目												
萌芽的先鋭研究実習	1・2⑤	1		6	7							
研究留学A	1・2⑤	1		6	7							
研究留学B	1・2⑤	2		6	7							
研究留学C	1・2⑤	4		6	7							
学外高度実務プロジェクト実習	1・2⑤	1		6	7							
学外高度研究プロジェクト実習	1・2⑤	2		6	7							
高度研究推進科目												
先鋭的学際演習Ⅰ	1~3⑤	2		6	7							
先鋭的学際演習Ⅱ	1~3⑤	2		6	7							
先鋭的学際演習Ⅲ	1~3⑤	1		6	7							
ナノ生命科学博士研究論文	1~3⑤	6		6	7							
合計(25科目)		-	15	34	0	8	7	0	0	0	0	11
修了要件及び履修方法												
以下の条件を全て満たし、20単位以上修得すること。 ・基幹展開科目から、必修科目を含む3単位以上修得すること。 ・ナノ生命科学革新科目から、4単位以上修得すること。 ・高度スキル科目から必修科目を含む1単位以上を修得すること。 ・高度プロジェクト科目から必修科目を含む2単位以上修得すること。 ・高度研究推進科目から、必修科目を含む10単位以上修得すること。												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手			
基幹展開科目	次世代研究者論	1③	1		8	7						0
	学際ナノ生命科学概論	1①		1		4						4
	ナノ生命科学特論	1③	2		5	1						11
ナノ生命科学革新科目	次世代イノベーション開拓	1③	1									1
	ナノ計測工学特論	1・2・3①	2		1	1						
	ナノバイオロジー	1・2・3②	2		1	2						
	生体分子構造動態論	1・2・3③	2		1							
	電気化学計測特論	1・2・3④	2		1							
	生体エネルギー論	1・2・3⑤	2		1							
	超分子											
	超分子機能化学探求	1・2・3①	2		1	1						
	高分子精密合成論	1・2・3②	2		1							
	生命科学											
分子細胞生物学	1・2・3①	2		1								
腫瘍生物学特論	1・2・3④	2		1	1							
算数												
数理												
学計												
SPMシミュレーション特論	1・2・3③	2									1	
生命ナノマシン理論	1・2・3④	2									1	
目												
博士実践スキル養成	1~2⑤	1		8	7							
高度プロジェクト科目												
萌芽的先鋭研究実習	1・2⑤	1		8	7							
研究留学A	1・2⑤	1		8	7							
研究留学B	1・2⑤	2		8	7							
研究留学C	1・2⑤	4		8	7							
学外高度実務プロジェクト実習	1・2⑤	1		8	7							
学外高度研究プロジェクト実習	1・2⑤	2		8	7							
高度研究推進科目												
先鋭的学際演習Ⅰ	1~3⑤	2		8	7							
先鋭的学際演習Ⅱ	1~3⑤	2		8	7							
先鋭的学際演習Ⅲ	1~3⑤	1		8	7							
ナノ生命科学博士研究論文	1~3⑤	6		8	7							
合計(26科目)		-	14	38	0	8	7	0	0	0	0	15
卒業要件及び履修方法												
以下の条件を全て満たし、20単位以上修得すること。 ・基幹展開科目から、必修科目を含む3単位以上修得すること。 ・ナノ生命科学革新科目から、4単位以上修得すること。 ・高度スキル科目から必修科目を含む1単位以上を修得すること。 ・高度プロジェクト科目から必修科目を含む2単位以上修得すること。 ・高度研究推進科目から、必修科目を含む10単位以上修得すること。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目 展開	研究者として自立するために 学際ナノ生命科学概論	1⑩ 1⑩	1	1	6	7	3				0	
	ナノ生命科学特論	1⑩	2		5						11	
ナノ計測学	ナノ計測工学特論	1・2・3①	2	2	1							
	ナノバイオロジー	1・2・3②	2	2	1							
	生体分子構造動態論	1・2・3③	2	2	1		1					
	電気化学計測特論	1・2・3④	2	2	1		1					
	生体エネルギー論	1・2・3⑤	2	2	1		1					
超分子化学	錯体機能化学探求	1・2・3①	2	2	1							
	高分子精密合成論	1・2・3②	2	2	1							
	分子細胞生物学	1・2・3③	2	2	1							
生命科学	腫瘍生物学特論	1・2・3④	2	2	1							
	SPMシミュレーション特論	1・2・3⑤	2	2						1		
算理学計	生命ナノマシン理論	1・2・3⑥	2	2						1		
	博士実践スキル養成	1~2⑦	1		6	7						
目次 高度 プロジェクト 科目	萌芽的先鋭研究実習	1・2⑧	1		6	7						
	研究留学A	1・2⑨	1	1	6	7						
	研究留学B	1・2⑩	2	2	6	7						
	研究留学C	1・2⑪	4	4	6	7						
	学外高度実務プロジェクト実習	1・2⑫	1	1	6	7						
	学外高度研究プロジェクト実習	1・2⑬	2	2	6	7						
高度 研究 推進 科目	先鋭的学際演習Ⅰ	1~3⑭	2		6	7						
	先鋭的学際演習Ⅱ	1~3⑮	2		6	7						
	先鋭的学際演習Ⅲ	1~3⑯	1		6	7						
	ナノ生命科学博士研究論文	1~3⑰	6		6	7						
合計(25科目)			-	15	34	0	6	7	0	0	0	14
修了要件及び履修方法												
以下の条件を全て満たし、20単位以上修得すること。 ・基礎展開科目から、必修科目を含む3単位以上修得すること。 ・ナノ生命科学革新科目から、4単位以上修得すること。 ・高度スキル科目から必修科目を含む1単位以上を修得すること。 ・高度プロジェクト科目から必修科目を含む2単位以上修得すること。 ・高度研究推進科目から、必修科目を含む10単位以上修得すること。												

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目 展開	研究者として自立するために 学際ナノ生命科学概論	1⑩ 1⑩	1	1	7	8	4				0	
	ナノ生命科学特論	1⑩	2		5	1					11	
ナノ計測学	ナノ計測工学特論	1・2・3①	2	2	1	1						
	ナノバイオロジー	1・2・3②	2	2	1	2						
	生体分子構造動態論	1・2・3③	2	2	1							
	電気化学計測特論	1・2・3④	2	2	1							
	生体エネルギー論	1・2・3⑤	2	2	1							
超分子化学	錯体機能化学探求	1・2・3①	2	2	1	1						
	高分子精密合成論	1・2・3②	2	2	1							
	分子細胞生物学	1・2・3③	2	2	1							
生命科学	腫瘍生物学特論	1・2・3④	2	2	1	1						
	SPMシミュレーション特論	1・2・3⑤	2	2						1		
算理学計	生命ナノマシン理論	1・2・3⑥	2	2		1				1		
	博士実践スキル養成	1~2⑦	1		7	8						
目次 高度 プロジェクト 科目	萌芽的先鋭研究実習	1・2⑧	1		7	8						
	研究留学A	1・2⑨	1	1	7	8						
	研究留学B	1・2⑩	2	2	7	8						
	研究留学C	1・2⑪	4	4	7	8						
	学外高度実務プロジェクト実習	1・2⑫	1	1	7	8						
	学外高度研究プロジェクト実習	1・2⑬	2	2	7	8						
高度 研究 推進 科目	先鋭的学際演習Ⅰ	1~3⑭	2		7	8						
	先鋭的学際演習Ⅱ	1~3⑮	2		7	8						
	先鋭的学際演習Ⅲ	1~3⑯	1		7	8						
	ナノ生命科学博士研究論文	1~3⑰	6		7	8						
合計(25科目)			-	15	34	0	7	8	0	0	0	14
修了要件及び履修方法												
以下の条件を全て満たし、20単位以上修得すること。 ・基礎展開科目から、必修科目を含む3単位以上修得すること。 ・ナノ生命科学革新科目から、4単位以上修得すること。 ・高度スキル科目から必修科目を含む1単位以上を修得すること。 ・高度プロジェクト科目から必修科目を含む2単位以上修得すること。 ・高度研究推進科目から、必修科目を含む10単位以上修得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 履修計画の見直しにより、「ナノ生命科学特論」の配当年次を「1③~④」から「1③」に変更。
- ・ 履修計画の見直しにより、「生命ナノマシン理論」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3③」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「研究者として自立するために」の教員配置を「兼任・兼任1」から「教授6、准教授7」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「学際ナノ生命科学概論」の教員配置を「准教授1」から「准教授9、兼任・兼任4」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「ナノ生命科学特論」の教員配置を「教授5、兼任・兼任10」から「教授5、兼任・兼任11」に変更。

【令和3年度】

- ・ 専任教員1名の昇任及び専任教員2名の追加により「研究者として自立するために」の教員配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授8」に変更
- ・ 専任教員1名の追加により「学際ナノ生命科学概論」の教員配置を「准教授3、兼任・兼任4」から「准教授4、兼任・兼任4」に変更
- ・ 専任教員1名の追加により「ナノ生命科学特論」の教員配置を「教授5、兼任・兼任11」から「教授5、准教授1、兼任・兼任11」に変更
- ・ 専任教員1名の追加により「ナノ計測工学特論」の教員配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより「ナノバイオロジー」の教員配置を「教授1」から「教授1、准教授2」に変更
- ・ 専任教員1名の昇任により「電気化学計測特論」の教員配置を「教授1」から「教授1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「生命ナノマシン理論」の教員配置を「兼任・兼任1」から「准教授1、兼任・兼任1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「錯体機能化学探求」の教員配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更
- ・ 専任教員1名の追加により「腫瘍生物学特論」の教員配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更
- ・ 専任教員1名の昇任、専任教員2名の追加により「博士実践スキル養成」の教員配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授8」に変更
- ・ 専任教員1名の昇任、専任教員2名の追加により「萌芽的先鋭研究実習」の教員配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授8」に変更
- ・ 専任教員1名の昇任、専任教員2名の追加により「研究留学A」の教員配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授8」に変更
- ・ 専任教員1名の昇任、専任教員2名の追加により「研究留学B」の教員配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授8」に変更
- ・ 専任教員1名の昇任、専任教員2名の追加により「研究留学C」の教員配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授8」に変更
- ・ 専任教員1名の昇任、専任教員2名の追加により「学外高度実務プロジェクト実習」の教員配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授8」に変更
- ・ 専任教員1名の昇任、専任教員2名の追加により「学外高度研究プロジェクト実習」の教員配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授8」に変更
- ・ 専任教員1名の昇任、専任教員2名の追加により「先鋭的学際演習Ⅰ」の教員配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授8」に変更
- ・ 専任教員1名の昇任、専任教員2名の追加により「先鋭的学際演習Ⅱ」の教員配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授8」に変更
- ・ 専任教員1名の昇任、専任教員2名の追加により「先鋭的学際演習Ⅲ」の教員配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授8」に変更
- ・ 専任教員1名の昇任、専任教員2名の追加により「ナノ生命科学博士研究論文」の教員配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授8」に変更

【令和4年度】

- ・ 全学の大学院教育改革により、基幹展開科目のうち「ナノ生命科学特論」を必修科目から選択科目へ変更
- ・ 全学の大学院教育改革により、基幹展開科目のうち「研究者として自立するために」の科目名称を「次世代研究者倫理」へ変更、併せて、専任教員の昇任により教員配置を「教授7、准教授8」から「教授8、准教授7」へ変更
- ・ 全学の大学院教育改革により、基幹展開科目に「次世代イノベーション開拓」を追加し、兼任教員1名を追加
- ・ 専任教員1名の昇任により、「生体分子構造動態論」の教員配置を「准教授1」から「教授1」へ変更
- ・ 専任教員1名の昇任により、以下の科目の教員配置を「教授7、准教授8」から「教授8、准教授7」へ変更: 「博士実践スキル養成」「萌芽的先鋭研究実習」「研究留学A」「研究留学B」「研究留学C」「学外高度実務プロジェクト実習」「学外高度研究プロジェクト実習」「先鋭的学際演習Ⅰ」「先鋭的学際演習Ⅱ」「先鋭的学際演習Ⅲ」「ナノ生命科学博士研究論文」

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	18 科目	0 科目	25 科目	7 科目 [0]	19 科目 [1]	0 科目 [0]	26 科目 [1]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						
4						
5						
6						
7						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{25} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 校地等整理のため(2)					
	校舎敷地	730,408㎡ 731,780㎡	㎡	㎡	730,408㎡ 731,780㎡						
	運動場用地	115,740㎡ 103,704㎡	㎡	㎡	115,740㎡ 103,704㎡						
	小 計	846,148㎡ 847,520㎡	㎡	㎡	846,148㎡ 847,520㎡						
	そ の 他	1,717,530㎡ 1,716,158㎡	㎡	㎡	1,717,530㎡ 1,716,158㎡						
	合 計	2,563,678㎡ 2,640,998㎡	㎡	㎡	2,563,678㎡ 2,640,998㎡						
(2) 校舎	専 用	284,135 ㎡ 283,999 ㎡ 283,269 ㎡ (284,135 ㎡) (283,999 ㎡) (283,269 ㎡)	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 建物増築のため(3) 建物増築のため(4)					
			0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	284,135 ㎡ 283,999 ㎡ 283,269 ㎡ (284,135 ㎡) (283,999 ㎡) (283,269 ㎡)						
(3) 教室等	講義室	162室 133室	演習室	208室 194室	実験実習室	1,180室 1,194室 910室	情報処理学習施設	11室 10室 8室 (補助職員 人)	語学学習施設	8室 6室 (補助職員 人)	大学全体 教室等用途変更・整理のため(2) 教室等用途変更・整理のため(3)
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		新学術創成研究科ナノ生命科学専攻				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本				
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
	冊	種	点	点	点						
	1,928,196 [680,849] 1,914,343 [678,557] 1,911,948 [678,273]	34,760 [12,152] 35,708 [13,079] 36,332 [14,394]	10,888 [9,388] 10,744 [9,292] 9,852 [8,485]	8,372 8,336 8,219	9,633 8,986 8,269	212 373					
	1,928,196 (680,849) 1,914,343 (678,557) 1,911,948 (678,273)	(34,760 [12,152]) (35,708 [13,079]) (36,332 [14,394])	(10,888 [9,388]) (10,744 [9,292]) (9,852 [8,485])	8,372 8,336 8,219	(9,633) (8,986) (8,269)	(212) (373)					
計	1,928,196 [680,849] 1,914,343 [678,557] 1,911,948 [678,273]	34,760 [12,152] 35,708 [13,079] 36,332 [14,394]	10,888 [9,388] 10,744 [9,292] 9,852 [8,485]	8,372 8,336 8,219	9,633 8,986 8,269	212 373					
	1,928,196 (680,849) 1,914,343 (678,557) 1,911,948 (678,273)	(34,760 [12,152]) (35,708 [13,079]) (36,332 [14,394])	(10,888 [9,388]) (10,744 [9,292]) (9,852 [8,485])	8,372 8,336 8,219	(9,633) (8,986) (8,269)	(212) (373)					
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		椅子破損および書架入れ替え等のため(3) 椅子破損および書架入れ替え等のため(4)				
	19,794㎡ 19,793㎡		2,194 2,185 2,191		1,633,859 1,640,536 1,625,424						
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
	6,295㎡		可動屋根付プール(1,193㎡)		弓道場(162㎡)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による			
		教員1人当り研究費等	-	-	図書購入費	-	-				
	共同研究費等	-	-	設備購入費	-	-	-				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	-	-	-	-
学生納付金以外の維持方法の概要											

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
融合学域						1.08	1.07				
先導学類	4	55		110	学士(学術)	1.06	1.03	-	令和3	石川県金沢市角間町	
観光デザイン学類	4	15		15	学士(学術)	1.20	1.20		令和4	同上	
人間社会学域						1.02	1.02				
人文学類	4	138	-	569	学士(文学)	1.02	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△4) 令和4年度入学定員変更(△3) 令和3年度入学定員変更(△10) 令和4年度入学定員変更(△10) 入学定員変更(△4)
法学類	4	150	3年次10	670	学士(法学)	1.01	1.01	-	平成20	同上	
経済学類	4	131	-	532	学士(経済学)	1.00	1.01	-	平成20	同上	
学校教育学類 共同教員養成課程	4	85	-	85	学士(教育学)	1.02	1.02	-	令和4	同上	
地域創造学類	4	88	-	356	学士(地域創造学)	1.03	1.01	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
国際学類	4	81	-	334	学士(国際学)	1.02	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△2)
学校教育学類	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和4年度学生募集停止
理工学域						1.03	1.03				
数物科学類	4	82	3年次5	338	学士(理学)	1.01	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△2)
物質化学類	4	79	3年次4	324	学士(理学・工学)	1.04	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
機械工学類	4	97	3年次10	408	学士(工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3)
フロンティア工学類	4	107	3年次5	438	学士(工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3)
電子情報通信学類	4	78	3年次7	326	学士(工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
地球社会基盤学類	4	98	3年次7	406	学士(理学・工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
生命理工学類	4	58	3年次2	236	学士(理学・工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△1)
機械工学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
電子情報学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
環境デザイン学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止

医薬保健学域						1.01	1.01					
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2	平成20	石川県金沢市宝 町13-1	入学定員変更 (12) ※臨時定 員増継続 令和3年度入学定 員変更 (30)	
薬学類	6	65	-	270	学士 (薬学)	1.04	1.00	-	平成20	石川県金沢市角 間町		
医薬科学類	4	18	-	36	学士 (生命医科学・創薬科 学)	1.05	1.05	-	令和3	同上		
保健学類						1.01	1.01					
看護学専攻	4	79	3年次 10	338	学士 (看護学)	1.00	1.00	-	平成20	石川県金沢市小 立野5-11-80		令和3年度入学定 員変更 (△1)
診療放射線技術専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	1.02	-	平成20	同上		
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	1.00	-	平成20	同上		
理学療法学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.09	1.06	-	平成20	同上		令和3年度入学定 員変更 (△5)
作業療法学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.05	1.06	-	平成20	同上		令和3年度入学定 員変更 (△5)
創薬科学類	4	-	-	-	学士 (創薬科 学)	-	-	-	平成20	石川県金沢市角 間町		令和3年度学生募 集停止
大学全体	-	1,726	95	7,383	-	-	-	-	-	-		

大学の名称	金沢大学大学院					学生募集停止学科数	9	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	3	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間社会環境研究科											
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学 術)	0.82	0.82	-	平成24	石川県金沢市角 間町	
経済学専攻	2	6	-	12	修士 (経済学・ 経営学・学 術)	1.50	1.50	-	平成24	同上	
地域創造学専攻	2	14	-	28	修士 (地域創造 学・学術)	1.28	1.21	-	平成24	同上	
国際学専攻	2	10	-	20	修士 (国際学・ 学術)	0.55	0.40	-	平成24	同上	
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境 学・文学・ 法学・政治 学・経済 学・学術)	1.08	0.91	-	平成18	同上	
法学・政治学専攻	2	-	-	-	修士 (法学・政 治学)	-	-	-	平成24	同上	令和2年度学生募 集停止
自然科学研究科											
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学 術)	1.04	0.88	-	平成24	石川県金沢市角 間町	
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工 学・学術)	1.04	0.90	-	平成24	同上	
機械科学専攻	2	72	-	72	修士 (工学・学 術)	0.90	0.90	-	令和4	同上	
フロンティア工学専攻	2	83	-	83	修士 (工学・学 術)	1.08	1.08	-	令和4	同上	
電子情報通信学専攻	2	63	-	63	修士 (工学・学 術)	1.03	1.03	-	令和4	同上	
地球社会基盤学専攻	2	69	-	69	修士 (理学・工 学・学術)	0.81	0.81	-	令和4	同上	

生命理工学専攻	2	41	-	41	修士 (理学・工学・学術)	0.92	0.92	-	令和4	同上	
数物科学専攻	3	15	-	45	博士 (理学・学術)	0.57	0.26	-	平成16	同上	
物質化学専攻	3	14	-	42	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.70	-	平成26	同上	
機械科学専攻	3	25	-	75	博士 (工学・学術)	0.44	0.40	-	平成26	同上	
電子情報科学専攻	3	18	-	54	博士 (工学・学術)	0.42	0.16	-	平成16	同上	
環境デザイン学専攻	3	10	-	30	博士 (工学・学術)	0.83	0.20	-	平成26	同上	
自然システム学専攻	3	21	-	63	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.42	-	平成26	同上	
機械科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
電子情報科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
環境デザイン学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
自然システム学専攻	2	-	-	-	修士 (理学・工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
医薬保健学総合研究科											
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.93	0.73	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	-	256	博士 (医学)	1.02	0.92	-	平成28	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学・学術)	0.81	1.25	-	平成24	石川県金沢市角間町	
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	0.99	1.15	-	平成24	同上	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	1.06	1.09	-	平成24	同上	
保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.75	0.80	-	平成24	石川県金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	0.81	0.60	-	平成24	同上	
脳医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	平成28年度学生募集停止
がん医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
循環医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
環境医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
先進予防医学研究科											
先進予防医学共同専攻	4	12	-	48	博士 (医学)	0.95	0.58	-	平成28	石川県金沢市宝町13-1	
新学術創成研究科											
融合科学共同専攻	2	14	-	28	修士 (融合科学)	1.03	0.85	-	平成30	石川県金沢市角間町	
融合科学共同専攻	3	14	-	28	博士 (融合科学・理学・工学)	0.18	0.28	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	2	6	-	18	修士 (ナノ科学)	1.66	1.16	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	3	6	-	18	博士 (ナノ科学)	1.44	1.16	-	令和2	同上	

法学研究科											令和2年度名称 変更
法学・政治学専攻	2	8	-	16	修士 (法学・政治学)	0.45	0.25	-	令和2	石川県金沢市角間町	
法務専攻	3	15	-	45	法務博士 (専門職)	0.73	0.93	-	平成16	同上	
教職実践研究科											
教職実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.96	0.93	-	平成28	石川県金沢市角間町	
大学院全体	-	926	-	2,143	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	中山 隆宏 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)	専	准教授	中山 隆宏 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)	専	准教授	中山 隆宏 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		学際ナノ生命科学概論 博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文			研究者として自立するために ※ 学際ナノ生命科学概論 ※ 博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文			研究者として自立するために ※ 学際ナノ生命科学概論 ※ 博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文
専	准教授	FRANZ CLEMENS MARTIN ＜令和2年4月＞ DOCTOR OF PHILOSOPHY (UNIVERSITY OF LONDON)	専	准教授	FRANZ CLEMENS MARTIN ＜令和2年4月＞ DOCTOR OF PHILOSOPHY (UNIVERSITY OF LONDON)	専	准教授	FRANZ CLEMENS MARTIN ＜令和2年4月＞ DOCTOR OF PHILOSOPHY (UNIVERSITY OF LONDON)
		博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文			研究者として自立するために ※ 学際ナノ生命科学概論 ※ 博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文			研究者として自立するために ※ 学際ナノ生命科学概論 ※ 博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文
専	准教授	新井 敏 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	新井 敏 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	新井 敏 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文			研究者として自立するために ※ 博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文			研究者として自立するために ※ 博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文
専	准教授	奥田 覚 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	奥田 覚 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	奥田 覚 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文			研究者として自立するために ※ 博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文			研究者として自立するために ※ 博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文
					宮成 悠介 ＜令和3年4月＞ 博士(生命科学)	専	准教授	宮成 悠介 ＜令和3年4月＞ 博士(生命科学)
					研究者として自立するために ※ 学際ナノ生命科学概論 ※ ナノ生命科学特論 ※ 腫瘍生物学特論 博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文			次世代研究者倫理 ※ 学際ナノ生命科学概論 ※ ナノ生命科学特論 ※ 腫瘍生物学特論 博士実践スキル養成 萌芽の先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	飯山 宏一 <令和2年4月> 博士(工学)									
		研究者として自立するために									
兼任	教授	平尾 敦 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	平尾 敦 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	平尾 敦 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	平尾 敦 <令和2年4月> 博士(医学)
		ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※
兼任	教授	大島 正伸 <令和2年4月> 獣医学博士	兼任	教授	大島 正伸 <令和2年4月> 獣医学博士	兼任	教授	大島 正伸 <令和2年4月> 獣医学博士	兼任	教授	大島 正伸 <令和2年4月> 獣医学博士
		ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※
兼任	教授	矢野 聖二 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	矢野 聖二 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	矢野 聖二 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	矢野 聖二 <令和2年4月> 博士(医学)
		ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※
兼任	教授	華山 力成 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	華山 力成 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	華山 力成 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	華山 力成 <令和2年4月> 博士(医学)
		ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※
兼任	教授	中嶋 美紀 <令和2年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	中嶋 美紀 <令和2年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	中嶋 美紀 <令和2年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	中嶋 美紀 <令和2年4月> 博士(薬学)
		ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※
兼任	教授	安藤 敏夫 <令和2年4月> 理学博士	兼任	教授	安藤 敏夫 <令和2年4月> 理学博士	兼任	教授	安藤 敏夫 <令和2年4月> 理学博士	兼任	教授	安藤 敏夫 <令和2年4月> 理学博士
		ナノ生命科学特論 ※			学際ナノ生命科学概論 ※ ナノ生命科学特論 ※			学際ナノ生命科学概論 ※ ナノ生命科学特論 ※			学際ナノ生命科学概論 ※ ナノ生命科学特論 ※
			兼任	教授	生越 友樹 <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	教授	生越 友樹 <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	教授	生越 友樹 <令和2年4月> 博士(工学)
					ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※			ナノ生命科学特論 ※
						兼任	准教授	平田 美周 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	平田 美周 <令和3年4月> 博士(医学)
								学際ナノ生命科学概論 ※			学際ナノ生命科学概論 ※
			兼任	助教	角野 歩 <令和2年4月> 博士(工学)						
					学際ナノ生命科学概論 ※						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			
			渡邊 信嗣 <令和2年4月> 博士(工学)	渡邊 信嗣 <令和2年4月> 博士(工学)	渡邊 信嗣 <令和2年4月> 博士(工学)
			兼任 助教 学際ナノ生命科学概論 ※	専 准教授 研究者として自立するために ※ ナノ計測工学特論 博士実践スキル養成 萌芽的先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文	専 准教授 次世代研究者倫理 ※ ナノ計測工学特論 博士実践スキル養成 萌芽的先鋭研究実習 研究留学A 研究留学B 研究留学C 学外高度実務プロジェクト実習 学外高度研究プロジェクト実習 先鋭的学際演習Ⅰ 先鋭的学際演習Ⅱ 先鋭的学際演習Ⅲ ナノ生命科学博士研究論文
				PUPPULIN LEONARDO <令和2年4月> 博士(工学)	PUPPULIN LEONARDO <令和2年4月> 博士(工学)
			兼任 助教 学際ナノ生命科学概論 ※	兼任 助教 学際ナノ生命科学概論 ※	兼任 助教 学際ナノ生命科学概論 ※
				市川 杜彦 <令和2年4月> 博士(工学)	市川 杜彦 <令和2年4月> 博士(工学)
				兼任 助教 学際ナノ生命科学概論 ※	兼任 助教 学際ナノ生命科学概論 ※
					松島 大輔 <令和4年4月> 博士(経営学)
					次世代イノベーション開拓
兼任	講師	Yuri E. Korchev <令和2年4月> Ph.D. in Biophysics and Cytology	兼任 講師 ナノ生命科学特論 ※	兼任 講師 Yuri E. Korchev <令和2年4月> Ph.D. in Biophysics and Cytology	兼任 講師 Yuri E. Korchev <令和2年4月> Ph.D. in Biophysics and Cytology
兼任	講師	Mark J. MacLachlan <令和2年4月> PhD, Department of Chemistry	兼任 講師 ナノ生命科学特論 ※	兼任 講師 Mark J. MacLachlan <令和2年4月> PhD, Department of Chemistry	兼任 講師 Mark J. MacLachlan <令和2年4月> PhD, Department of Chemistry
兼任	講師	Adam S. Foster <令和2年4月> PhD in Theoretical Solid State Physics	兼任 講師 ナノ生命科学特論 ※ SPMシミュレーション特論	兼任 講師 Adam S. Foster <令和2年4月> PhD in Theoretical Solid State Physics	兼任 講師 Adam S. Foster <令和2年4月> PhD in Theoretical Solid State Physics
兼任	講師	Alexander S. Mikhailov <令和2年4月> PhD・Department of Physics	兼任 講師 ナノ生命科学特論 ※ 生命ナノマシン理論	兼任 講師 Alexander S. Mikhailov <令和2年4月> PhD・Department of Physics	兼任 講師 Alexander S. Mikhailov <令和2年4月> PhD・Department of Physics
					Carsten Beta <令和4年4月> PhD・Dr. rer. nat. (独逸)
					ナノ生命科学特論 ※ 生命ナノマシン理論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任・兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・担当教員の見直しにより、専任教員の福岡剛士、古寺哲幸、秋根茂久、前田勝浩、松本邦夫、WONG WING CHUEN RICHARD、高橋康史、柴田幹大、紺野宏記、中山隆宏、FRANZ CLEMENS MARTIN、新井敏、奥田覚の担当授業科目を変更。
- ・兼任教員の飯山宏一が辞任。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の安藤敏夫の担当授業科目を変更。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の生越友樹、角野歩、渡邊信嗣、PUPPULIN LEONARDOが就任。

【令和3年度】

- ・専任教員として渡邊信嗣、宮成悠介を追加
- ・担当教員の見直しにより、渡邊信嗣、中山隆宏、Franz Clemens Martin、新井敏、奥田覚の担当授業科目を変更
- ・ナノバイオロジーに、中山隆宏（専任）、FRANZ CLEMENS MARTIN（専任）を追加
- ・錯体機能化学探求に、新井敏（専任）を追加
- ・生命ナノマシン理論に、奥田覚（専任）を追加
- ・研究者として自立するために、博士実践スキル養成、萌芽的先鋭研究実習、研究留学A、研究留学B、研究留学C、学外高度実務プロジェクト実習、学外高度研究プロジェクト実習、先鋭的学際演習Ⅰ、先鋭的学際演習Ⅱ、先鋭的学際演習Ⅲ、ナノ生命科学博士研究論文に、宮成悠介（専任）、渡邊信嗣（専任）を追加
- ・ナノ生命科学特論、腫瘍生物学特論に、宮成悠介（専任）を追加
- ・学際ナノ生命科学概論に、宮成悠介（専任）、平田英周（兼任）、市川杜彦（兼任）を追加、角野歩（兼任）、渡邊信嗣（専任）を削除
- ・ナノ計測工学特論に、渡邊信嗣（専任）を追加
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の平田英周、市川杜彦が就任
- ・兼任教員の角野歩が辞任
- ・専任教員の高橋康史が教授に昇任

【令和4年度】

- ・「生命ナノマシン理論」にCarsten Beta（兼任）を追加、Alexander S. Mikhailov（兼任）を削除
- ・専任教員の柴田幹大が教授に昇任
- ・全学の大学院改革により、「次世代イノベーション開拓」の開講により、松島大輔（兼任）を追加

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	7	0	0	13	0	8	7	0	0	15	0
(6)	(7)	(0)	(0)	(13)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
13	0	0				15	0	0			
(13)	(0)	(0)				[2]	[0]	[0]			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	7	0	0	15	0	8	7	0	0	15	0
[2]	[0]	[0]	[0]	[2]	[0]	[2]	[0]	[0]	[0]	[2]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
15	0	0				15	0	0			
[2]	[0]	[0]				[2]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{13} = \boxed{115.38} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1							該当なし
2							
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1							該当なし
2							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{\#REF!} = \#REF! \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

□人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1						該当なし			
2									
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<新学術創成研究科 ナノ生命科学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 新学術創成研究科ナノ生命科学専攻会議</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ナノ生命科学専攻会議 令和3年度全第10回開催 出席率平均80%</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項 (2) 規程その他の教育に係る重要な規則の制定又は改廃に関する事項 (3) 教育に係る予算の執行に関する事項 (4) 教育課程の編成に関する事項 (5) 学生の円滑な修学等を支援するために必要な助言、指導その他の援助に関する事項 (6) 学生の入学又は課程の修了その他学生の在籍に関する事項及び学位の授与に関する事項 (7) 教育の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項 (8) 授業の内容及び方法の改善を図るための研修及び研究の実施に関する事項 (9) その他教育に関する重要事項 のうち、当該専攻に係る事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・ 令和4年3月3日 令和3年度ナノ生命科学専攻FD研修会</p> <p>b 実施方法 ・ オンライン形式</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 出席率80%</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 外国人留学生に対する指導や、日常の関わり方で留意すべきことなどを共有した</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 ・ 有（授業ごとに、各期の最終講義時に実施）（予定）</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ 担当教員に公開する（予定）</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 設置の趣旨・目的に沿った教育研究体制を整備し、令和4年4月の開設が順調に行われた。 施設整備、教員配置、カリキュラム設計など、設置計画どおりに達成している。</p> <p>② 自己点検・評価報告書 学内規程に基づき、定期的に、部局の自己点検評価を実施することとしている。 ・令和4年度：全学的な基本データ分析による自己点検を実施予定。</p> <p>a 公表（予定）時期 ・基本データ分析による自己点検を令和4年末までに公表予定</p> <p>b 公表方法 ・大学Webサイト上に公開</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 ・令和3年度に、評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し、適合の認定を受けた。</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>《aで「有」の場合》</p> <p>b 公表（予定）時期 [<input checked="" type="radio"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [<input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ <input type="radio"/> その他 ()]</p> <p>《aで公表「無」の場合》</p> <p>d 公表しない理由 []</p>

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。